



## 健康 生活

お子さまの心身の状態を細かく観察し、普段と変わった状態になった際には、その場に必要な対応を行い、健康な心と体を育てる支援をします。アセスメントに基づいた個別支援計画に沿って、一定時間でトイレでの排泄支援など、基本的な生活習慣の習得や形成をして、生活リズムが安定するように支援を行います。当施設では、食事の提供を行っています。ご希望のご利用者さまには食事の提供をして、いろいろな食材を使用し、味覚や嗅覚などを刺激します。また、食事のマナーを覚えられるように支援し、楽しい食事の時間になるように支援を行っています。




## 運動 感覚

椅子に座ったり、机に向かった際に姿勢を保持する練習や正しい姿勢での座り方などを支援します。また、体を動かすため、外に出て公園やお散歩などを一日の流れに入れて支援をしています。公園での遊びなどを通して、視覚、触覚などの感覚を十分に活用できる機会を作るように支援をしています。雨が降って外に行けない際などは、室内でやれる内容を考え、プログラムで取り入れるようにしています。映像、音楽に合わせてダンスをするなど、感覚を刺激しながら、体を動かせるように支援内容を考えています。感覚の特性（過敏や鈍麻）があるお子さまに対しては、環境を整え、ストレスにならないように支援をしています。




## 認知 行動

アセスメントの際にお聞きした情報を基にしながら、一人一人の様子をよく観察し、それぞれの特性に応じて環境を整えながら支援を行います。特性などでうまくコミュニケーションが取れないお子さまには、職員が間に入り、お話を聞くなどして、行動障害が起こらないよう、よりよい選択ができるように支援を行っています。読み聞かせや手遊び、プログラムなどで視覚、聴覚などの感覚を刺激しながら、認知機能の発達を促す支援になるよう、内容を考えています。また、当施設では食事の提供を行っています。食事の提供を行うことにより、視覚や嗅覚などの感覚を刺激するとともに、偏食にならないための支援も同時に行っています。




## 言語

コミュニケーション



一人ひとりの特性に応じて言葉だけでなく、表情や身振りなどもコミュニケーションの一つであることを支援します。言葉でのコミュニケーションが取れるお子さまでもうまく相手の意図をくみ取れていない場合には、職員が入り、相手の意図をくみ取れるように支援をしています。同時に自分の意図している考えが伝わらなかった場合にも、別の表現もあることを支援し、言語の幅が広がるように支援をしています。また、当施設では言語聴覚士の方を招いて、支援を行っています。言語によるコミュニケーションに問題がある方に向けた専門的なサービスを受けていただくことができます。特定の曜日にしきいらっしやいませんが、言語聴覚士さんの助言に基づいた支援を行っています。



## 人間関係 社会性

ご利用のお子さまの特性に合わせて、環境の整備をします。また、職員が積極的にかかわりを持つことで、安心感や信頼感を持って通ってもらえるよう、支援をしています。家ではないけど、もう一つの居場所として安心して過ごせる施設を目指して、職員一同で支援をしています。お子さまの小さな異変に気付けるように日ごろからの観察やコミュニケーションを大切にしています。プログラムやおもちゃでの遊びなどを通じて、ルールを守ること、役割分担など多岐にわたっての経験を積み、社会性の発達を支援します。職員との関わりの中で自分のことを理解するとともに、気持ちの折り合いの付け方、コントロールの仕方などを身に付けられるような支援をします。

